

# 本会議のあらまし

平成18年

## 第4回定例会

平成18年第4回定例会が、6月9日から29日まで21日間の日程で開催されました。  
合併後初となる新年度の予算関係22議案、人事案件、条例改正など27議案が審議されました。主な質疑を掲載します。

### 土地改良事業

赤城地区の日陰深山土地改良事業の施行計画が、審議されました。

この地区は、道路や用排水路の整備が遅れ、農業経営の近代化と発展を阻害しているとともに、農業集落の改善に支障をきたしているため、土地改良整備が望

まれていました。

昭和22年のカスリーン台風で被害を受け、土地台帳の食い違いが見られるなどの質疑がなされ、地権者と実測による整理で合意しているとの回答がありました。今後、地元住民との合意の上、事業が実施されます。審議の上、全員一致で可決されました。

### 人事案件

人権擁護委員の任期が、平成18年9月30日に満了となるため、全員一致で6人の候補者を推薦しました。

- 岸 輝男氏（金井）
- 岩井 正法氏（半田）
- 荒井 信一氏（赤城）
- 金井 好彌氏（白井）
- 原口 利平氏（行幸田）
- 八高 美智子氏（中郷）



改良が待たれる日陰深山地区

# 639億円



ユートピア赤城

### 指定管理者の指定

ユートピア赤城と赤城の湯ふれあいの家に指定管理者制度を導入して、その目的を効果的に達成しようとするものです。指定される管理者は、スカイテルメ渋川を管理している会社です。

株式会社じぶかわ温泉  
渋川市半田3129番地1  
代表取締役社長 木暮治一  
指定期間は、平成18年7月1日から平成23年3月31日まで

提出された指定管理業務仕様書に具体的な事業計画書などが明記されていないことに質疑が集中しました。答弁では、今後協議のなかで、基本的なものを提示さ

せていきたいとの説明です。反対・賛成ともに討論がなされ賛成多数で、可決されました。

### 自立支援審査会共同設置

障害者自立支援法に基づき渋川市と吉岡町、榛東村で、審査会を共同設置するもので全員一致で可決されました。審査会では、介護給付費等の支給に関する審査が行われます。

### 国民保護協議会

この協議会は、武力攻撃事態等における国民の保護に関する法律いわゆる国民保護法に基づき協議会を設置するものです。

武力攻撃を受ける可能性や、緊急時に人権を守る計画が立案できるかなど緊迫した質疑がされました。市長は、戦争が起こると思わない。万が一を考えたのことと答弁がありました。また、同様議案で、国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定も上程されました。

ともに討論がなされ賛成多数で、可決されました。

新年度予算となるため、各項目にわたり質疑が交わされました。歳入については、国の三位一体の改革について、市長の考えを尋ね、評価はできないが今後も改

革はされるとの見通しが示されました。また合併特別債については、新年度の借入は、6億1320万円で、防災対策や中学校校舎改築事業、幼稚園建設事業になることも示されました。

- 平成18年度予算編成方針（抜粋）
1. 人にやさしく便利で快適なまちづくり
  2. 美しく豊かな自然と共生するまちづくり
  3. 快適でやすらぎのあるまちづくり
  4. 健やかで温かな暮らしがあるまちづくり
  5. 豊かな心と個性ある伝統・文化を育むまちづくり
  6. 地域資源と連携による活力あるまちづくり
  7. 参加とふれあいで築くまちづくり
  8. 協働と効率化で進めるまちづくり



整備が進む白井城址

歳出では、北橋地区の急斜面対策は、県に要望すること。子持地区の白井城址整備事業は、今後観光の拠点となることに期待すること。渋川地区では、町名表示について、平成18年度に組織を作り研究すること。中心市街地や商店街の活性化対策、市民ゴルフ場、ス

# 新年度予算



建て替えが待たれる旧小野上公民館

カイトルメ渋川などの質疑がありました。

小野上地区では、公民館建設は、老朽化によること。伊香保地区では、係争中の裁判について、今後必要に応じた報告がなされることや新設の福祉施設について、質疑がありました。

赤城地区については、農業の取り組み支援について、質疑がありました。

また全市にわたっては、職員人件費、行政改革、新市総合計画、高齢者等の防災対策、図書資料購入、ボランティア支援事業や消防に関することなどの質疑が

ありました。反対・賛成ともに討論がなされ賛成多数で、可決されました。

## 特別会計予算

国民健康保険特別会計では、出産育児一時金や、後発医薬品は医師と協議して提供することなどの質疑がありました。

病院事業会計では、大学の医局の人事改定期間に伴い、渋川総合病院に派遣の見通しがいいのかとの質疑に対しては、研修医の医局離れや、入局者の減少が問題との答弁がありました。特別会計予算は、すべての議案が可決されました。



## 二人目の助役を承認

荒井道明氏（前県総務局長）が二人目の助役に承認されました。